

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	854	公民館管理経費	会計	01	一般会計	
			款	10	教育費	
			項	05	社会教育費	
基本 施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	目	05	公民館	
			細目	443	公民館管理経費	
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	公民館管理経費	
担当部課	コード	451800	担当者 氏名	中川 秀也	連絡先	52 - 1110 (内線)
	名称	青山公民館				

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	教育・文化関係の団体や公民館サークル及び市民	※対象件数
成果(どうする)	教育・文化活動を行うために必要な場を提供することにより、団体等の自主的な活動が活発に行われる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	公民館活動グループ・団体の活動の場を提供 情報の提供 施設の維持・整備 図書サービスの充実 (図書の貸し出し、図書購入、図書整理作業委託)	
社会情勢 の変化等	図書整備等業務委託は、平成20年度においてシステムが構築され、平成21年度以降は新規購入 図書抽出マーク及びシステム保守業務委託となる。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	2人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	3,023 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
年間開館日数		日	目標	298	目標	296
			実績	293	実績	291
			目標		目標	
			実績		実績	

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
公民館利用者数		利用者数の増加が文化振興の指標となる	人	目標	10,000	目標	10,100
				実績	11,909	実績	10,924
図書室利用者数		利用者数の増加が文化振興の指標となる	人	目標	9,200	目標	9,200
				実績	9,626	実績	6,872

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	5,371	2,751			3,023		3,023	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	207	245			210	210	
一般財源	5,164	2,506			2,813	2,813		
事業投入人件費(B)	1.5人 10,800							
フルコスト(A)+(B)	16,171	13,551			13,823		13,823	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	魅力ある事業を提供することにより、参加者の増加を図る。 「シルバーリング講座」「黒豆を使った味噌作り」「庭木の楽しみ方」
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 公民館図書室の存在をPRするため4回、図書室での公開講座を実施した。「楽しいお話しがやってくる」「古典の音読と伊賀ことば」「お干菓子つくる」「みんなで歌いましょう」

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中川 秀也
【方向性】	現状維持
【理由】	団塊の世代が大量に退職し、地域に戻っている中において、その知的好奇心を満足させる場や、居場所づくりとして、地区公民館の重要性は増していることに鑑み、公民館図書室なども含めた機能の拡張が求められる。最低限、現状維持が必要である。
現時点における 課題、その他	1. 施設の老朽化に伴う公民館施設設備等の維持 2. 図書購入予算の削減に伴う図書の住民満足度の低下
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	1. 早急に年次計画を立て、施設設備の修繕を求める。 2. 図書購入費用の予算増、もしくは削減されていない上野図書館の図書購入予算の一部を各公民館図書室の図書購入予算に振り替える。 図書購入費を現状維持や削減するならば、早急に図書配送サービスを実施する。(配送費等の予算化はいずれにしても必要)